

浦河町社協だより

# ゆうなぎ

No.33



## 「明るく 優しく 仲よく 笑顔で」


平成 14 年度から始まった託老事業「愛の会」（実施主体：浦河町老人と共に歩む会）は、開設から丸 10 年を経ていますますます活気づいています。

7 月 6 日に行われた北海道認知症の人を支える家族の会日胆ブロック研修会（主管：浦河町老人と共に歩む会）でも、「愛の会」の取り組みが紹介されたほか、歩む会会員の心温まるお出迎えとおもてなしに遠方からの参加者からも感謝の言葉が聞かれ、在宅介護（経験）者相互に日頃の思いをわちあうことができました。

平成 24 年 8 月発行  
社会福祉法人 浦河町社会福祉協議会

### 《 本号の内容 》

- ◇ [表紙の写真] 託老「愛の会」の様子／開設から 11 年目！
- ◇ 平成 23 年度事業報告 . . . 2～3 ページ
- ◇ 平成 24 年度事業計画 . . . 4 ページ
- ◇ 新たな取り組みのご紹介 . . . 5～6 ページ
- ◇ ボランティアセンターからのお知らせ . . . 7 ページ
- ◇ 愛情銀行へのご寄附／編集後記 . . . 8 ページ

～  この社協だよりは、共同募金会からの助成金の一部が使われています～

# 平成23年度事業報告

## □法人の運営（会務）

- |              |     |
|--------------|-----|
| 1) 理事会の開催    | 7回  |
| 2) 評議員会の開催   | 4回  |
| 3) 定例監査の実施   | 4回  |
| 4) 三役会議・決算監査 | 各1回 |

## □要援護世帯の把握と関係機関・団体との連携

- 1) 世帯調査と世帯表の作成  
(独居高齢者名簿及び高齢者夫婦世帯名簿)
- 2) 民生委員や自治会福祉部等との連携
- 3) 地域包括支援センター主催のケアマネジメント会議及びケアマネジャー会議への参加
- 4) その他

## □小地域ネットワーク事業

- 1) 自治会福祉部の設置促進  
51自治会で設置(23年度末現在)
- 2) 自治会福祉部情報交換会の開催

## □地域福祉情報の提供及び相談事業

- 1) 社協だより「ゆうなぎ」の発行 1回
- 2) 心配ごと相談所の設置

## □介護保険サービス事業の実施

- 1) 訪問介護事業（ホームヘルパー）
  - ・利用実人員 187人
  - （介護予防） 63人
  - ・訪問延回数 9507回
  - （介護予防） 1781回
- 2) 通所介護事業（デイサービス）
  - ・利用実人員 94人
  - （介護予防） 22人
  - ・利用延人員 6124人
  - （介護予防） 1317人
  - ・開設日数 309日
- 3) 訪問入浴介護事業
  - ・利用実人員 8人
  - ・訪問延回数 313回
- 4) 居宅介護支援事業（ケアマネジャー）
  - ・担当件数 126人

## □障害福祉サービスの実施（障害者自立支援）

- 1) 居宅介護
  - ・利用実人員 21人
  - ・訪問延回数 1231回

## □高齢者生活支援等サービス事業の実施

- 1) 給食サービス事業（受託事業）
  - ・利用者数 35人
  - ・延配食数 2309回
- 2) 移送サービス事業（受託事業）
  - ・利用者数（一般移送） 2人
  - ・延利用者数（一般移送） 5人
  - ・利用者数（人工透析利用者） 13人
  - ・延利用者数 1191人
- 3) 電話サービス事業（受託事業）
  - ・利用者数 19人
  - ・延通話回数 446回
- 4) 高齢者等電話サービス事業（独自事業）
  - ・利用者数 6人
  - ・延通話回数 209回
- 5) 軽度生活支援事業（受託事業）
  - ・利用実人員 14人
  - ・訪問延回数 229回

## □地域福祉の拠点づくり

- 1) 浦河町社会福祉会館の管理
- 2) 関係機関・団体の会館利用への対応

## □ボランティアセンター事業の推進

- 1) 日常的活動の実施
  - ・給食サービスボランティア 延べ361名
  - ・電話サービスボランティア 延べ127名
  - ・施設訪問ボランティア 延べ130名
- 2) おしゃべりサロン（ボランティア作業交流会）  
年2回開催／合計33名参加
- 3) ふれあいお食事会・お話会の開催  
年3回開催（7/4、11/30、3/12）
- 4) ボランティア交流事業（町内清掃活動）  
9月10日開催、56名参加
- 5) 街頭募金ボランティア  
10月1日実施、23名参加
- 6) ボランティア愛ランド北海道（士別市）  
10月15～16日、9名参加
- 7) 福祉教育支援（出前講座の実施）  
町内3小学校、延べ7回訪問
- 8) ボランティア協力校への助成 1校
- 9) 中高生福祉体験活動の開催  
8月8～9日、13名参加

## □住民参加型在宅福祉サービスの推進

- 高齢者自立支援団体「ボエム」の活動支援
- ・登録ヘルパー数 11名
  - ・訪問延べ回数 229回

## □託老事業「愛の会」の支援

※実施主体：浦河町老人と共に歩む会

- ①定期開設（毎月第3土曜日）
  - ・延利用者数 150人
  - ・スタッフ参加延人数 221人
- ②出前愛の会（年1回／10月1日）
  - ・利用者数 6人

## □地域福祉・在宅福祉を担うマンパワーの育成

- 1) ホームヘルパー養成講座への協力
  - ・講師の派遣 6名
  - ・実技実習の受入れ 21名
- 2) 浦河高校職場体験の受入れ 3日間

## □地域福祉権利擁護事業の支援

※実施主体：北海道社会福祉協議会

- ・生活支援員数（町内） 5名
- ・利用者数（町内） 54名  
（うち、社協取扱い：15名）
- ・保管書類等受渡件数 749件

## □自立と社会参加活動の推進（各団体の支援）

※社協が事務局を担っている団体

- 1) 浦河町老人クラブ連合会
- 2) 身体障害者福祉協会浦河協会
- 3) 浦河町老人と共に歩む会
- 4) 北海道共同募金会浦河町共同募金委員会

## □わかもの就労支援事業の実施〔新規事業〕

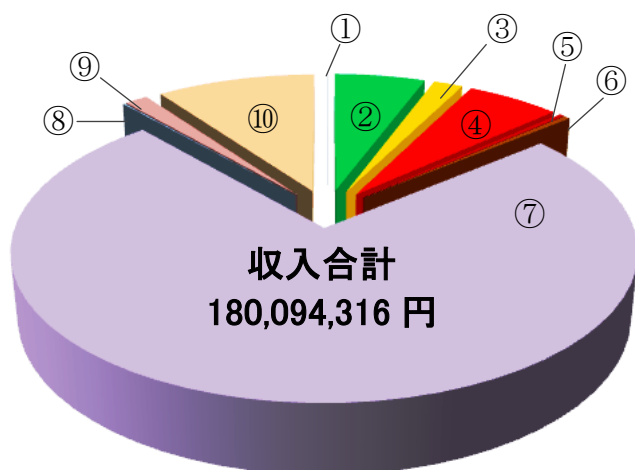
平成23年8月より浦河町から受託。

様々な事情から定職に就けずにいる若者に対して、関係機関との連携のもと、一人でも多く社会参加に結びつけることを目的に実施。

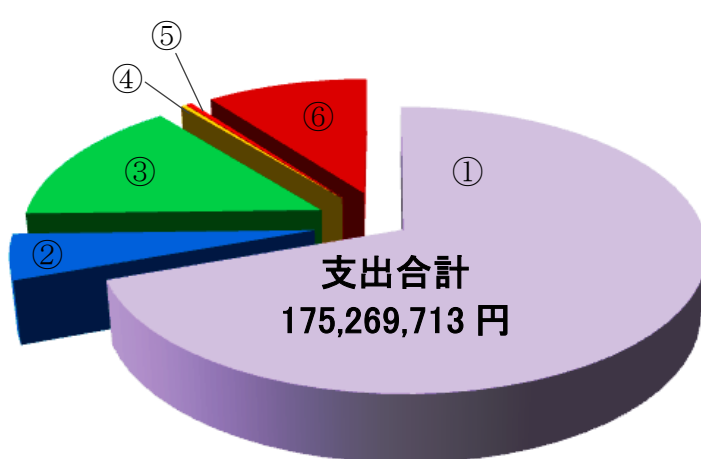
平成24年度からの本格実施に向けて、ニーズの掘り起こし等を中心に事業展開。

## □その他の事業

- 1) 赤い羽根共同募金運動の協賛
  - ①募金運動の実施
    - 募金総額 1,409,792円
  - ②各種団体・事業への配分（助成）
- 2) 生活福祉資金貸付事業
  - ・新規貸付件数 2件
  - ・貸付（継続）世帯数 55件
- 3) 母子・寡婦福祉資金貸付事業
  - ・新規貸付件数 8件
- 4) 浦河町母子等福祉資金貸付事業
  - ・新規貸付件数 22件
  - ・貸付（継続）世帯数 36回
- 5) 介護機器等貸与事業
  - ・車いす 46件
  - ・歩行器 2件
  - ・シャワーチェア 2件
  - ・松葉杖 2件
  - ・ウォーターマット 1件
  - ・ギャッチベッド 2件
  - ・布団乾燥機 1件



①社協会費収入	30千円	(0%)
②町補助金収入	10,200千円	(6%)
③助成金収入	3,267千円	(2%)
④町受託金収入	10,431千円	(6%)
⑤共同募金配分金収入	545千円	(0%)
⑥負担金収入	739千円	(0%)
⑦介護保険事業等収入	134,246千円	(75%)
⑧雑収入	166千円	(0%)
⑨会計単位間繰入金収入	2,615千円	(1%)
⑩経理区分間繰入金収入	17,856千円	(10%)



①人件費支出	121,769千円	(69%)
②事務費支出	8,991千円	(5%)
③事業費支出	25,490千円	(15%)
④共同募金配分金支出	545千円	(0%)
⑤負担金支出	619千円	(0%)
⑥経理区分間繰入金支出	17,856千円	(10%)

付記) 一般会計の経常活動収支のみ図示しています。

# 平成24年度事業計画

## (基本方針)

かねてより当協議会が掲げております「安心して生活できる福祉の町づくり」を具現化するため、本年度も介護保険事業をはじめとした各種サービスの提供を中心に据えて事業展開を図るとともに、さまざまな地域の課題にもきめ細やかに対応してまいります。

- (1) 要援護世帯の把握と各関係機関との連携
- (2) 地域福祉ネットワークづくり
  - ・自治会福祉部の設置推進
  - ・小地域ネットワーク活動推進会議（自治会福祉部地域福祉会議）の開催
- (3) 広報誌及びウェブサイト（ホームページ）を活用した情報提供【5ページ参照】
- (4) 心配ごと相談所の運営
- (5) 介護保険サービス事業等の実施
- (6) 障害福祉サービス事業の実施
- (7) 高齢者生活支援等サービス事業の実施
  - ・生活支援サービス〔受託事業〕  
（給食サービス、通院・外出等支援サービス、軽度生活支援サービス電話サービス事業）
  - ・高齢者等電話サービス事業〔独自事業〕
- (8) 地域福祉の拠点づくり
- (9) ボランティア活動の推進【7ページ参照】
  - ・ボランティアセンター（ボラセン）の運営
  - ・ボランティア団体等の側面的支援
- (10) 住民参加型在宅福祉サービスの推進
- (11) 託老事業「愛の会」の支援【表紙参照】
- (12) 地域福祉・在宅福祉サービスを担うマンパワー育成の支援
- (13) 地域福祉権利擁護事業の支援
- (14) わかもの就労支援事業の実施〔受託事業〕【6ページ参照】
- (15) 自立と社会参加活動の推進（各団体の支援）



社協が事務局を担っている団体／浦河町老人クラブ連合会  
身体障害者福祉協会浦河協会  
浦河町老人と共に歩む会【表紙参照】  
北海道共同募金会浦河町共同募金委員会

- (16) その他の事業
  - ・赤い羽根共同募金運動の協賛
  - ・生活福祉資金貸付事業
  - ・母子・寡婦福祉資金貸付事業
  - ・浦河町母子等福祉資金貸付事業
  - ・介護機器等貸与事業





## 【新しい取り組みのお知らせ①】

# ～浦河町社協のホームページを開設しました！～

当社協はこれまで本誌を中心とした紙媒体による情報発信を行ってまいりましたが、住民の皆様方がよりリアルタイムで情報収集が可能となるよう、今年度からウェブサイト（ホームページ）を開設いたしました。

今後は広報誌及びウェブサイトそれぞれの特徴を生かした情報の発信と提供に努めるとともに、各種事業を効果的に運営するために活用してまいります。

インターネット環境にある方は、ぜひ一度閲覧ください。

## ＜浦河町社会福祉協議会 HP＞

URL : <http://www.shakyo.or.jp/hp/index.php?s=148>

## ＜トップページ＞



浦河町社会福祉協議会

社会福祉協議会について | 事務所の所在地 | お問い合わせ先(E-mail) | サイトマップ(目次)

～地域で誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して～

浦河町社会福祉協議会からの新着情報

- 2012.07.19 「10代MT®」が開催されました
- 2012.07.18 【助成金情報】平成24年度ボランティア活動助成要領について
- 2012.07.09 VC「ふれあいお食事会」を開催しました！
- 2012.07.06 「～家族の会 日胆ブロック研修会」が開催されました
- 2012.06.28 6月19日に「10代MT®」が開催されました

浦河町社会福祉協議会の過去の記事

- 2012.06.25 管内身体障害者スポーツ大会が行われました
- 2012.06.20 「第39回 浦河町老人スポーツ大会」が開催されました
- 2012.06.05 身体障害者福祉協会浦河協会の総会が行われました



※現状では、全国社会福祉協議会（全社協）から提供されたホームページ作成支援サイトを活用していることから、レイアウトには制約があります（写真もさほど添付できません）が、まずは発信することから始めてまいります。ご意見、ご感想などぜひお待ちしております！



## 【新しい取り組みのお知らせ②】

### 浦河町わかもの就労支援事業“こんぱす”がスタートしました！

浦河町社会福祉協議会では、この4月に浦河町より委託された「浦河町わかもの就労支援事業“こんぱす”」をスタートさせました。

この事業は、様々なテーマや悩みを持つ主に10代を中心とした若者たちを応援するための事業であり、若者たちのニーズや現状を把握し、それぞれのペースに合わせ柔軟にプログラムを展開し、進路選択、ゆくゆくの就職に役立てていただくことを目標にしています。

生活、仕事、将来のことなど…一人ひとりの“これから”を一緒に考えさせていただきます。

- 就職活動ってどうすればいいのかな…
- 自分がどんな仕事をしたいのかわからない…
- 就職しても長続きがしない…
- 学校を中退して将来が不安…
- 何となく家にとじこもりがちで体力的にも自信がない…
- 何となく居場所がない…
- なんだか友人とうまくいかない…
- “やる気スイッチ”が入らない…

このようなテーマを持っていらっしゃる若者の皆さん！ご家族の皆さん！

「こんぱす」のスタッフに声をかけてみませんか。まず、その「お声」をいただいてから、それぞれの内容に応じた応援の方法を考え、“これから”に向けたプログラムを作成します。

## 【総合相談】

## 【支援プログラム】

「こんぱす」では様々な形で若者の皆さんやそのご家族の応援をさせていただきます。

- 同じ苦労やテーマを抱える同年代が集い、仲間同士で「語り合える場」を提供します。
- 一人ひとりの興味、関心等から得意分野や可能性を引き出すお手伝いをします。
- 勤労意欲等に応じた「ジョブ・トレーニング」的な活動プログラムを実施します。
- 希望により、若者の皆さんにはご家族同士での「井戸端の会」を開催します。
- 必要に応じて、医療・教育・労働・福祉等各関係機関と連携したプログラムを実施します。
- その他「形式的なプログラム」に縛られず、個々のニーズやテーマを基に、さまざまなプログラムを展開します。



■TEL：0146-26-7500

■メール：urakawa.compass@kind.ocn.ne.jp

■住所：浦河町築地1丁目5番1号 浦河町勤労青少年ホーム内

■相談受付：月曜日～金曜日（祝日・年末年始・休館日を除く）

“こんぱす”という名称は、船などで方位・進路等を測る「羅針盤（コンパス）」より命名しています。「若者の皆さんが安心して、それぞれの“船出のための準備”を行えるような居場所でありたい」というスタッフの気持ちがこめられています。

## ボランティアセンター（ボラセン）からのお知らせ

ボラセンは、笑顔あふれるまちづくりを目的にボランティア活動の推進を図るとともに、住民一人ひとりが心豊かに暮らすことができるようにさまざまな事業を行ってまいります。ここでは、今年度すでに実施した事業の報告のほか、ボラセンからの告知・お知らせも含めてご紹介いたします。

### □□ふれあいお食事会・お話会

ボラセンでは去る7月9日、70歳以上のお一人暮らしの高齢者を対象にした食事会を行いました。今回は市街地区（旭町・常盤町～緑町）の方々にご案内しましたが、当日はあいにくの天候にもかかわらず、11名の方がご参加くださいました。

ボランティアも15名が会場設営から準備にあたり、夏の訪れを感じられるようにと、ソーメンやイチゴのスムージーをふるまい、大変喜ばれました。

毎回のことですが、日頃お一人で食事をされることが多い参加者からは、会話や笑顔のある食事の時間が本当に有意義だという感想を頂戴します。

隣近所による見守りを強化する一環として、各地域単位（自治会や校区など）でも同様の試み（サロンの提供）を行う際は、計画段階でも構いませんので、ぜひ社協（ボラセン）にもご一報ください。



### □□おしゃべりサロン（作業交流会）

普段から社協に寄せられるリングプルや古切手などの物品は、それぞれ所定の方法で丁寧に活用させていただいています。

その際は、ボラセンの登録ボランティアに呼びかけして、リングプルの袋詰めや古切手の切り揃え作業などを行っています。しかし、決して黙々と作業を行うわけではありません。

「楽しんでこそボランティア！」という言葉もありますが、まさに作業する“手”だけでなく、おしゃべりする“口”も動かしながら作業にあたっています。

このような作業ならできるかも…という方もいるかもしれません。ぜひお気軽にボラセンまでご連絡ください。



#### <ボランティアに関するお問い合わせは…>

浦河町ボランティアセンター（社会福祉協議会内）まで

Tel (0146) **22-9099**（ボラセン直通）

Tel (0146) 22-6800（社協代表）

Fax (0146) 22-6444（共通） 担当：石黒

各種登録様式（個人登録・団体登録・ボランティア提供依頼シートなど）はボラセンでご用意しております。

また、安心して活動に取り組むためのボランティア活動保険の取扱いも行っております。



# 《愛情銀行へのご寄附》

(平成 24 年 2 月～6 月取扱分)

## 社会福祉振興基金へのご寄附

・谷川 利昭 様	1,000,000 円
・藤原 弘道 様 (石狩市在住)	100,000 円
・西川 慶一 様	50,000 円
・坂本 政利 様	10,000 円
・金石 守 様	100,000 円
・菅 正幸 様	100,000 円
・浦河卸売市場仲買人組合 様	33,290 円
・伊藤 秀志 様	50,000 円
・山本 五郎 様	200,000 円

## 施設・団体等への指定寄附

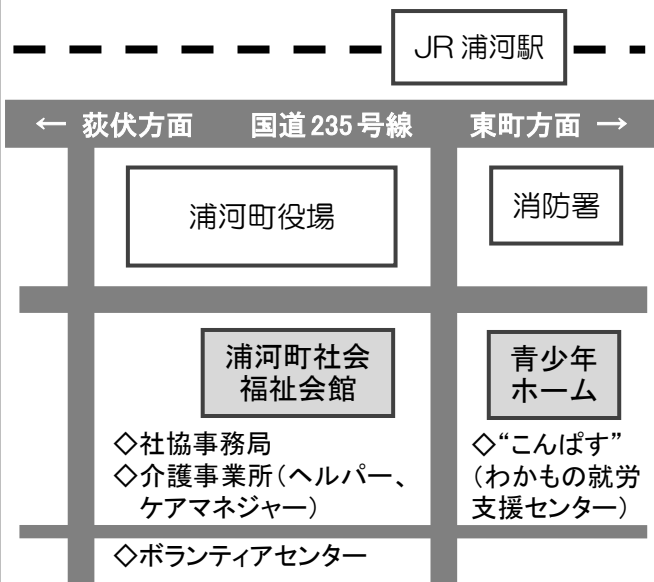
・齊藤 仁 様	75,000 円
[北海暁星学院へ]	
・立石 俊雄 様	200,000 円
(下記4施設に各 50,000 円)	
[浦河わらしべ園/北海暁星学院/浦河向陽園/浦河愛生会]	

## その他のご寄附・寄贈

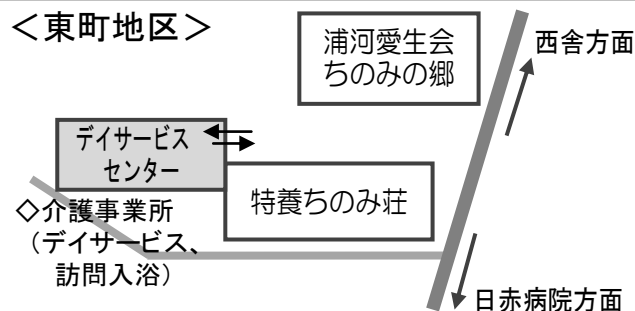
リングブルなどの収集物品を中心に、多くのご厚意を賜りました。心より感謝申し上げます。

## □□浦河町社会福祉協議会／各事業所へのアクセス

### <築地地区>



### <東町地区>



## 社会福祉法人 浦河町社会福祉協議会

〒057-0024

浦河町築地 1 丁目 4-38 社会福祉社会館内

TEL : 22-6800 / FAX : 22-6444  
(社協事務局、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所)

TEL : 24-4888 / FAX : 22-3955  
(通所介護事業所、訪問入浴介護事業所)

## 編集後記

七月上旬、私事で東北に行ってきました。昨年のちようど同じ時期に、岩手県宮古市の社会福祉協議会に設置された災害ボランティアセンターのボランティアの支援に来、約一年ぶりに現地を訪ねましたが、当時とは街の様子も必要とされる活動の場面も変化していません。反面、依然として復興への道筋を見出せない地域もありました。滞在中、昨年はボランティアの立場で福岡からやってきていた青年と再会しました。彼は今も宮古市に残り、復興支援に携わっていました。そんな折に九州北部を襲った「過去に経験したことのない」豪雨。彼は宮古市で活動を共にする仲間と寄附を募り、今は福岡で後方支援活動を始めます。大阪ボランティア協会の早瀬昇氏は、「ボランティア」を「やむにやまれぬ心の動き」と表現しました。きっと彼はずっとそんな想いに衝き動かされて、行動しているのだと思います。これからも彼と彼の仲間を、遠くから応援していきたいと思いました。(いしぐろ)